

平成27年度

予算

平成27年度の予算が成立しました。重視するのは、「地方創生に向けての取り組み」、「九州一安心安全なまち小林市の実現」、「行財政改革の推進」の3点。「30年後を見据えた持続可能なまちづくり」を推進するため、「未来まち創生予算」と位置づけ、定住対策や子育て支援、防災事業などに重点配分しています。

平成27年度の重点事業

7つの分野に分けて具体的な事業内容と予算額を紹介します。



1 防災・医療・生活

- 解散した小林高原衛生事業事務組合のし尿処理施設を市で引き継ぎ管理、運営します
……1億9289万円 (生活環境課)
- 消防団の消防車両を2台更新します
……2584万円 (危機管理課)
- 地域で活躍する医療人材の育成を図るため、西諸市町修学サポート貸付金の元金拠出などを行います
……1290万円 (健康推進課)
- 生活習慣病の予防のため、特定健診やメタボ健診を実施し、早期発見、早期治療につなげます
……5994万円 (ほけん課)



新庁舎の外観のイメージ。完成は28年度の予定



小林高原衛生事業事務組合解散後、し尿処理施設を運営

- 新庁舎の基本実施設計を作り、10月から議会棟の解体工事を行います
……1億1200万円 (管財課)
- 疾病予防のため、健康相談や各種がん検診を実施し、早期発見、早期治療につなげます
……5859万円 (健康推進課)
- 紙屋3地区の水道管に連絡管を布設し、老朽化した施設を更新します
……2億4970万円 (水道課)
- 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)に対応するためシステムの整備を行います
……5138万円 (企画政策課)



水流迫地区と東方地区の消防車を更新します



各種健診で、病気の早期発見、治療につなげます



昨年、第1期の災害ボランティアコーディネーター59人が誕生しました



災害発生時、地域で助け合える体制をつくるため、自主防災組織の活動を支援します

- 市営住宅長寿命化計画に基づき、日の出団地の建物設計などを行います
……9712万円 (管財課)
- 老朽化する公共施設等の更新・統廃合等を計画的に行うため、公共施設等総合管理計画を策定します
……391万円 (財政課)
- 市内の自主防災組織に資材などの購入補助と、災害ボランティアコーディネーター養成業務を市民活動団体に委託します
……974万円 (危機管理課)



4 中心市街地・地域活性化

- 小林駅構内の信号通信設備の移転などを実施します
……………5124万円(建設課)
- まちづくり株式会社への出資、中心市街地活性化協議会への運営費を補助します
……………1360万円(商工観光課)
- すきむらんど宿泊施設「かるかや」の屋根ふき替えなどを行います
……………2641万円(須木庁舎地域振興課)
- 野尻地区内の商店や田園風景などを結ぶ「まちあるき」イベントを開催します
……………250万円(野尻庁舎地域振興課)

- きずな協働体の設立と運営を支援します
……………1394万円(市民協働課)



㊦「まちあるき」イベントで野尻地区の活性化を目指します㊦3月に駅の南北通路が開通しました㊦昨年に引き続き、かるかやの屋根ふき替えを実施します

5 農業・畜産

- 和牛子牛価格の高騰により経営が厳しい状況に陥った肥育農家の支援を行います
……………1000万円(畜産課)
- 家畜疾病の予防と伝染病発生を防止するため、市自衛防疫推進協議会が行う薬剤配布に対する補助を行います……………959万円(畜産課)
- 農業後継者対策や新規就農者への支援を行うなど、地域営農の推進を図ります
……………1億1906万円(農業振興課)



畜産のまちのさらなる振興を図ります

PICK UP 昨年度はこんな事業を実施しました

昨年も市では、30年後を見据えた持続可能なまちづくりを推進し、さまざまな事業を展開してきました。ここでは、その中から4つの事業を紹介します。



総合運動公園内のテニスコート4面を改修し、新しくなりました。



細野の堀之内1号線が新しくなり、広くなりました。



内山・野尻間に新たに福祉バスが運行を開始しました。



「もみじの里づくり事業」で広葉樹などを695本植樹しました。

2 子育て・福祉

- 消費税引き上げによる影響を緩和するため、所得の低い人に臨時福祉給付金を支給します
……………1億284万円(福祉課)
- 要介護者が、可能な限り地域で日常生活を営めるよう、総合相談支援や認知症施策などの充実を図ります
……………9849万円(長寿介護課)
- 地域訪問給食サービス事業、高齢者等外出支援サービス事業を行います
……………665万円(須木庁舎住民生活課)
- 野尻町区内の福祉バス7路線、通学用1路線、内山・野尻間路線を継続運行します
……………709万円(野尻庁舎住民生活課)



4月に栗須小に放課後児童クラブを設置しました



健康で長生きするための、健康づくりを行います

- 子育て世帯の経済的な負担を減らすため、子育て世帯臨時特例給付金を支給します
……………2244万円(子育て支援課)
- 保護者の就労上の不安を解消するため、放課後児童クラブを増設し、運営を委託します
……………4355万円(子育て支援課)
- 小林市生活自立相談支援センターを開設し、生活に困っている人の相談に応じて支援を行います
……………1541万円(福祉課)
- 高齢者がいつまでも元気でいられるように、介護予防講座や軽運動教室などを行います
……………6241万円(長寿介護課)

3 人口対策・財源確保

- 地域おこし協力隊を新たに2人を雇用し、観光の推進を図ります
……………602万円(商工観光課)
- 空き家バンクの運営、小林市体験ツアーを実施します
……………447万円(市民協働課)
- ふるさと納税制度を活用し、地域経済の活性化を図ります
……………8168万円(市民協働課)



26年度で3地区となったきずな協働体。今年、野尻地区で設立される予定です

一般会計予算は 252 億 2400 万円

平成 27 年度の予算は、前年度市長選を前に骨格編成した当初予算に肉付けした 6 月補正後の予算と比較すると、3.7% 減となりました。主な理由は、前年度行われた学校給食センターの建設や小林駅の南北通路開通などの大型事業が完了したためです。なお、「30 年後を見据えた持続可能なまちづくり」のため、今年度は新規事業 37 件、9 億 7900 万円計上しています。

一般会計



特別会計

会計名	予算額
簡易水道事業特別会計	6 億 2472 万円
食肉センター事業特別会計	5768 万円
国民健康保険事業特別会計	85 億 4378 万円
物品購入特別会計	2 億 9410 万円
農業集落排水事業特別会計	2 億 4018 万円
下水道事業特別会計	7 億 6847 万円
西諸地域介護認定審査事業特別会計	3038 万円
介護保険事業特別会計	54 億 8570 万円
後期高齢者医療事業特別会計	12 億 6191 万円
宅地分譲事業特別会計	14 万円
西諸地区いじめ問題対策専門委員会特別会計	18 万円

予算総額

市のすべての予算である一般会計と特別会計、企業会計（水道事業と病院事業）の総額は、462 億 7798 万円となりました。

462 億 7798 万円

一般会計	252 億 2400 万円
特別会計	173 億 724 万円
水道事業	8 億 6950 万円
病院事業	28 億 7724 万円

6 教育・文化

- 南小学校校舎の耐震化のため改築工事を行います
……8 億 7756 万円（学校教育課）
- 子育てに対する知識や心構えを掲載した保護者用のテキストを作成し、配布します
……150 万円（学校教育課）
- 小学 5・6 年生と中学生を対象に将来の夢を見つけるきっかけ作りとして、外国語や医療などの分野を体験する講座、地域ぐるみで親子のふれあいや絆づくりを深める体験活動などを実施する団体を支援します
……95 万円（社会教育課）
- 小林地区の小学校・須木地区の小中学校・都城さきりしま支援学校小学部に学校給食を提供します
……8261 万円（保健体育課）
- 生駒地区のエヒメアヤメ自生地の保全のためフェンスを設置します
……1167 万円（社会教育課）



④ 26 年度に南小学校校舎を改築 ⑤ エヒメアヤメ自生南限地は市で唯一の国指定天然記念物です ⑥ 東方に新学校給食センターが完成。4 月から供用開始

7 地方創生（平成 26 年度予算から繰り越し）

- 小中学校の児童生徒がいる家庭の経済的負担を軽減するため、商品券を配付（2 万円 / 人）します
……7843 万円（学校教育課）
- 地域経済の活性化のためにプレミアム商品券を発行し、市内の消費喚起を図ります
……7935 万円（商工観光課）
- 人口減少に歯止めをかけ持続可能なまちづくりを行うため、人口ビジョンと総合戦略を策定します
……1000 万円（企画政策課）
- チョウザメの地域ブランド化や女性の活力推進グループの商品開発などの活動支援を行います
……812 万円（市民協働課）
- 市内全小学校でデジタル教科書を導入し、ICT 教育環境を充実させ、グローバル社会に対応できる子どもの育成を目指します
……1643 万円（学校教育課）
- 市民と行政とが協働で PR 動画を制作し、全国に発信します
……1042 万円（企画政策課）
- 6 次産業化を推進するため、加工施設の整備や機械の導入などに対して補助をします
……500 万円（農業振興課）
- 小林市の認知度向上と都市圏からの移住・交流人口を増やすため、ANA 総合研究所と提携して小林を全国に PR します
……1512 万円（市民協働課）



30 年後も持続可能なまちづくりに向けて、市民総力で事業を進めていきます